

令和6年度 大阪府立岸和田支援学校 第2回学校運営協議会議事録

【日時】 令和6年11月22日(金) 13:30~14:30

【場所】 本校 1F 地域支援室

【出席】 会長…高田昭夫氏

副会長…塩谷謙二氏

委員…田中由紀氏、浦園麻美氏、池田友美氏、宇賀敦子氏

校長…松浪啓介 教頭…丸田公司 事務長…青木昭之

首席・指導教諭…有山暁雄、井上鉄也、小浦亜由里、川並しのぶ

学部主事…福積聡子、前田詳人

【議事録】

学校長挨拶

協議事項

① 令和6年度学校教育自己診断の集計結果報告

⇒昨年度に続き、Google フォームで実施した。メ切延長や案内を再送するなどして、回収率アップにつなげた。

教職員の回答率は95%、保護者の回答率は67.7%、児童生徒の回答率は53.3%だった。学校経営計画

の評価指標項目とリンクしているものについては、ほぼすべての項目で評価指標を上回っていた。視線入力

装置に関わる質問項目が評価指標を少し下回っていたため、現在担当部署で原因分析をしている。

Q. 教職員は4名が未回答となっている。理由は？

A. 無記名のアンケートであるため、未回答の教職員を特定できず、本人への促しができなかったことが原因。

② 令和6年度学校経営計画の進捗状況の報告

⇒第1回の学校運営協議会での意見や質問については、表面に記入している。裏面の自己評価欄には11月

現在の進捗状況を記載している。学校教育自己診断の集計が終了し、各項目の自己評価を数値で出すこと

ができています。視線入力装置の項目の肯定的評価が評価指標に達しなかったが、実際に活用している児童

生徒を担当している教員の数値は高い。新規に取り組むケースの低さを改善していくことが課題と考えている。

センター的機能の充実については、集計中の項目が多いため、次回の学校運営協議会で示したい。

Q. 視線入力装置は岸和田支援学校の特色の一つで他の学校からも評価されている部分なので、それに関わることができる教員の育成が大事な視点と考えているがどうか。

A. 現状は専門性の高い教員が牽引している。それらの教員が退職した時の危機感がある。一人の人材育成だと何年後かには同じ状況となるため、担当分掌で引き継いでいくなどの工夫を考えていきたい。

③ 令和7年度教科書採択の報告

⇒教育委員会より採択通知は届いていないが、後日届いた一覧表のとおりに進めていく。選定一覧表について、一つの学年を例に説明を行った。

Q. 一覧表のみだとよくわからないので、見本となる教科書を用意してほしい。委員のメンバーに実際に見てもらうことが必要ではないか。

A. 今後は、第1回の会議で前年度に採択した教科書、第3回の会議で次年度の教科書の報告を行いたい。

④防災×電池デイキャンプのご案内

⇒11/30(土)実施の事業について説明を行った。一部変更はあったが、概ね計画通りに準備できている。

(意見)昨年度実施することが決まり、今回の資料を見ると、具体的にイメージできるものとなり嬉しく思う。

初めての取り組みなので、課題は出てくると思うが、より良い事業となっていくよう今後も進めてほしい。

⑤ 保護者からの意見調査審議

⇒特になし

⑥ その他

⇒特になし

※ 各協議事項については承認された。

事務連絡

第3回2月7日(金)13:30~14:30にて実施する。

閉会